

みどりの風



医療法人 みどり会 枚方市藤阪中町3番20号 ☎072-868-2071
URL <http://midori.jpn.org/> E-mail midorii@io.ocn.ne.jp

社会福祉法人 松樹会 枚方市交北2丁目10番1号 ☎072-898-2197
URL <http://www.syoyukai.org/> E-mail ikoinosato@syoyukai.org

編集責任者：理事長 中村 猛
編 集：季刊誌編集委員会

第60号御挨拶

理事長 中村 猛



皆さん こんにちは。
新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）な猛威の嵐が吹き込まれています。

自然は春の訪れで陽光まぶしく、木々は新緑の芽を吹き、桜が開花し満開に向かって桜花爛漫の時期を迎えているのに、街には道行く人は少なく、人々の顔のマスクのみ目立

中国武漢に発生し、今やヨーロッパ、それに続くアメリカに飛来して震源地となってきました。

過去の歴史をひもとくとパンデミックなウイルス感染症は1918年のスペイン風邪、2002年のSARS（重症急性呼吸器症候群）、2012年のMERS（中東呼吸器症候群）とその戦いは今に始まったことではありません。しかし、この自然の猛威を我々人類は新たな英知と勇気と行動をもって対抗し、乗り越えていかねばなりません、そこには人類の文明・文化と自然との関わり、摂理の解明も望まれるところです。

私どもの地域の皆様に医療福祉のより良いサービス提供を業務としておる者として、この新型コロナウイルスの感染拡大を如何に防止していくか、刻々の情報を入手して、最適の方法・手段でもって対応しております。先の見えない、この流行が鎮静するのを祈りたいと思います。



ち、主な駐車場には空車のタクシーが列をなしています。

我々の人類の繁栄の基礎となる集合・交流が封鎖され、その感染の拡大を阻止する対策でこの忌まわしい流行をくい止め、終息さすことに成功するか、なお先が見えない現況にあります。

超微粒子のコロナウイルスは人類に世界大戦をしかけて来ました。敵は我々の特に高齢者や持病をもった免疫力のない方々に直撃して肺炎の併発で重症化し死亡者が増悪しています。

両法人令和2年度入社式オリエンテーション開催

(記：人事部 廣江)

さる、令和2年4月1日（水曜日）中村病院にて合同入社式を挙行了いたしました。
今年度の新入職員は25名となりました。

医師（2名）・看護師（5名）・理学療法士（3名）・作業療法士（4名）・社会福祉士（1名）・相談員（2名）・介護福祉士（1名）・介護職（7名）

入社式終了後は人材育成WG主催のオリエンテーションを午前9時から午後5時30分まで実施致しました。





令和2年度病院運営について

院長 高橋 輝

新型コロナウイルス感染症の影響で騒がしいご時世ですが、今年の4月は2年に1度の診療報酬改定があります。聞きなじみがないかもしれませんが、医療保険を利用する際のルールが一部変更されます。この改定に伴い、医療費が変わったり、医療を受ける際の条件の変更等がありますのでご留意下さい。

当院ではこれらの医療制度に対応するため、毎年4月に運営方針を定めていますが、現場の要望をできる限り反映できるよう、部署ごとに方針を作成するようにしています。

冒頭の感染症対応に関しては、感染症対応病床がないため、当院では対応できませんが、病院ごとの役割分担を整理して

地域医療を守ろうとする取り組みが北河内でも進められています。当院の主たる病棟は113床の回復期リハビリ病棟ですが、急性期に対応する48床の一般病棟と慢性期医療に対応する45床の療養病棟があります。これら3種類の病棟を有効に活用し幅広い診療に対応するため、周辺の医療機関から各領域の専門医を招聘しています。

全人的な医療を提供できる地域医療の基幹病院として貢献することを目標に掲げ、今年度も努力して参りますので、変わらぬご支援をよろしくお願い致します。



麻酔科医赴任のご挨拶

麻酔科部長 岩井 鉄平



はじめまして、麻酔科の岩井鉄平と申します。

私はこれまで、関西医科大学枚方病院、枚方公済病院と勤務してきており、枚方市の地域医療に携わってきました。この度、令和2年3月より中村病院麻酔科の一員として勤務させていただくことになりました。

手術室での麻酔管理を専門としていますが、集中治療室での勤務経験もありますので、重症患者さんの治療のお手伝いもできればと考えております。ただ、ペインクリニックの経験は

乏しいので、お力になれないこともあるかと思いますがご了承ください。

関連部署の皆様はもちろんそれ以外の皆様からも、ご意見・ご要望をいただければより良く改善していきたいと思っておりますので、どのような事でも気さくにお話しいただければと思います。

まだまだ未熟者でご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、前任の吉岡先生にご協力していただきながら精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。



整形外科医赴任のご挨拶

整形外科医師 大月 陽介



はじめまして、関西医科大学附属病院から参りました大月陽介と申します。

今年度より中村病院整形外科の一員として勤務させていただくことになりました。簡単に自己紹介をさせていただきますと私は奈良出身であり奈良県の高校を卒業し関西医科大学に入学致しました。

その際に硬式テニス部に入学しスポーツ活動を行なっておりました。その後関西医科大学附属病院で

初期研修を終え関西医科大学の整形外科に入局し、附属病院、総合医療センター、香里病院で診療させていただきました。

近年の超高齢化社会におきまして運動器疾患の愁訴は非常に多くなってきております。中村病院では骨折などの急性期から変形性関節症などの慢性期疾患まで幅広く診療されております。私自身整形外科医として保存療法から手術、リハビリテーションと様々な形で診療に携わって行きたいと考えております。

まだまだ未熟者でありこれから皆様にご迷惑をおかけするかと思います何卒よろしくお願い致します。

ルーク山田眼科開院のお知らせ

ルーク山田眼科 院長 山田 潤



☎ 072-868-0880

4月20日、中村病院前に「ルーク山田眼科」を開院いたします。目に関する様々な心配事にたいしまして、最先端の眼科医療を科学的な情報とともにご提供し、みなさまに充実した日々を提供できる医療を目指しています。

小児の近視予防（オルソケラトロジー、点眼療法）から白内障・緑内障手術、抗加齢医学会専門医としてのアンチエイジング指導や免疫療法（抗癌療法含む）の情報提供、さらには一般臨床間近の再生医療である培養角膜内皮細胞移植も取り入れていく予定です。

また、中村病院と連携して入院加療も可能であり、午前診だけでなく、16時からの夕診も行います（月・土除く）。まずはお気軽に戸をたたいてみて下さい。



令和 2 年への期待

なごみの里 事務長 原田 陽造

昨年令和に変わり、良いことがあると期待していた矢先に7月京都アニメ放火、9月から10月にかけて台風19号の襲来と悲しい出来事や経済では消費税10%へ引き上げと色々な出来事がありましたが、良い出来事の一つとして私個人的にはラグビーW杯開催で感動と勇気をもらうことができました。しかしながら、本年に入り新型コロナウイルス感染症が拡大し特に高齢者施設での対応は慎重にならざる負えない現状も続いており、一日も早い平穏な暮らしに戻れるよう願っております。

なごみの里としては昨年から急務となっておりました介護職員不足も徐々にではありますが解消しつつありますが、ご利用者にはご心配をおかけすることのない体制づくりにするためにも、介護職員の求人活動は継続して行い、安心・安全・信頼を第一と考えてまいります。

このような職員不足問題は他施設も同様であり職員一人一人

が高齢者と携わることに介護専門職としての誇りを持ち日々の業務に励むことを期待しております。

今期は重度化するご利用者への受け入れ強化と、受け入れに対する業務改善、各分野の更なるスキルアップもはかり中村病院との連携も強化し受け入れ基準の緩和を図りたく思っております。

他に、グループホームたんぽぽは、来年春には新しく、2ユニット（定員18名）型として生まれ変わる予定であります。また場所も現在のところから中村病院前に移転し立て替えられます。職員も新たな気持ちを抱いてこの一年業務にあたってもらえると思います。是非ご利用者はじめご家族の皆様やグループホームへご入居をお考えの皆様、期待してお待ちください。尚、詳細は次号、次々号で随時掲載いたします。



快適な施設をめざして

なごみの里 事務部 主任 藪下 貴昭

なごみの里では皆様に快適に過ごしていただくために、日々現場スタッフや職員がご利用者やそのご家族に対して気持ちを込めた関わり方を心がけています。

それと同時に居心地の良い環境維持には、施設の設備保全も大切な要素です。

建物もある程度年数が経過すれば、傷みや故障が起きてきます。この数年でもフロアの壁紙を張り替え、照明をLED化し、エアコン設備を新しく入れ替え、また今年に入ってから老朽化した給湯タンクのリニューアルや居室カーテンやテレビの一新など、順に実施してまいりました。

併せて最近の設備や機器は、それ自体の美観や機能が向上

するだけでなく、節電やエコを意識した仕様になっている場合も多く、無駄を減らした資源活用といった部分にも一役かっていると感じています。そういったメンテナンスや設備の更新などもあり、なごみの里は開設から20年経過した今も皆様にご愛顧いただけていると考えております。

当初から掲げてきた「音」「光」「香」のコンセプトである、常に明るく気持ちの良い施設であるために、スタッフがおもてなしの気持ちを持って接するソフト面と、利用していて清潔感があり快適に感じていただける設備のハード面、両方が行き届いた施設でいられるように、これからも心がけてまいります。



今期に向けて

サテライトなごみの里 支援相談員 主任 岩本 将典

当施設は昨年の7月から施設の基本体型が強化型→超強化型に変わりました。

超強化型とは、5段階ある施設の基本体型の中で、在宅復帰・在宅療養支援機能が一番高い算定基準を満たしている施設のことです。

超強化型の算定基準を満たすことは大変ですが、継続する事のほうが難しいと今は感じています。

話しは変わりますが、昨年わが家には双子が生まれました。初めての事で戸惑うことも多かったのですが、早いもので育児を始めてからもう1年が経ち、4月からは保育園に通っております。

子育てを行っている、と考えさせられることが多々あります。「子供は親の背中を見て育つ」と言われていますので、子供に恥じることのないようにしていきたいと思っています。

話を戻しますが、サテライトなごみの里は今期も超強化型の維持を目指して日々の業務に努めて参ります。また、皆様に気持ちよくご利用して頂けるように、これまで以上に接遇や施設サービスの向上に努めて参りたいと思います。

私自身もご利用者やご家族にはもちろんのこと、施設の職員からも「背中を見られている」ということを意識して、日々の業務に努めていきたいと思っています。

在宅支援



断らない相談支援

枚方市地域包括支援センターみどり 所長 伊内 康宏

「断らない相談支援」が2021年度からは市町村の任意事業として、新たな事業として創設されます。枚方市においても、庁内の機構改革が2020年4月から予定されています。

高齢・障害・児童・困窮等制度はあるわけですが、属性や年齢にかかわらず受け止める体制がこれから大切になります。例えば、80歳の要介護の高齢者と引きこもりの50歳の家族を支援するためには、私たち包括だけでは難しいので、制度の垣根を越えて、担当者が知恵を絞り、チームでアプローチできる体制整備が肝要です。

これは包括も含めて、行政機関で活躍するケースワーカーや保健師、社会福祉・医療法人等で活躍する相談援助職の力を結集できるかどうかが問われているのだと考えています。

そして、個別のケース対応だけでなく、地域の居場所や活躍の場、就労や居住支援などは、地域やコミュニティとの信頼関係が不可欠です。

個人や地域社会に、さらにアウトリーチ（出向いて働きかける）し、相談支援の充実に努めて参ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



理事会・評議員会に参加して

たんぼぼ田口 管理者 岩崎 潤一

3月12日と19日の両日、中村病院4階会議室に於きまして、社会福祉法人松樹会の理事会・評議員会が開催されました。

令和2年度の事業計画・事業予算について、令和元年度補正予算について、経理規定・就業規則の変更について、公募2事業の資金計画と借入についてなど、第1～7号議案の全てが、出席者の賛成多数で可決されました。

社会福祉法人の理念として、地域福祉の充実・発展、また事業の持続などが求められており、松樹会と致しまして、既存の施設の安定した事業運営の継続や、新施設の開設などによる枚方市の福祉の発展を目指しておりますので、全ての議案にご理解を頂いた事を、大変感謝しております。

この度、初めて理事会・評議員会に参加させて頂きましたが、各議案に対し、出席者の皆様から、様々な多くの御意見を頂いた事を、法人事務局として真摯に受け止め、今後の施設運営等に活かしていきたいと思っております。



いこいの里藤阪に藤棚が設置されました いこいの里藤阪 施設長 岡崎 基

平成30年1月に地域密着型特養としてオープンしました「いこいの里藤阪」も早いもので開設してから3年目になりました。開設した当初より、「藤の花」をモチーフにしたデザインを施設に取り入れたり、併設している「小規模多機能ホームふじ」の名称にも藤をイメージした名前をつけるなどをしていました。

かねてより藤棚を設置し、地域に愛される施設づくりを目指していたところ、ご縁があり大阪市の春日神社の「藤三郎」氏より「ノダフジ」の寄贈のお話をいただき、藤棚を設置するはこびとなりました。そこで、3月13日(金)に

いこいの里藤阪にて植樹祭を執り行いました。

藤阪地区の皆さまにもご参りいただき、藤阪の名前のいわれでもある神社の境内にある藤ノ木のまつわるお話などを伺うことが出来ました。

ノダフジの寄贈者でもある「藤三郎」様からも次の新紙幣の5000円札の裏側に今回植樹しました「ノダフジ」が使われるお話も伺い、今回の藤棚が施設のご入居者だけでなく、地域の皆さまに愛されるいこいの場になるために、大切に育てようと思います。藤の花が見事咲きましたら、ぜひ一度施設まで足を運んでください。インスタ映え間違いなしです！



各施設連絡先

社会福祉法人 松樹会

特別養護老人ホーム いこいの里	
デイサービスセンター いこいの里	072-898-2197
サテライト いこいの里	072-849-2210
特別養護老人ホーム いこいの里藤阪	072-868-2192
ケアハウス つくしんぼ長尾	
デイサービスセンター 長尾	072-868-2190
ケアハウス つくしんぼ藤阪	072-868-2191
グループホーム たんぼぼ藤阪	072-868-2197
グループホーム たんぼぼ田口	072-898-2193
小規模多機能ホーム ふじ	072-868-2193
居宅介護支援センター つくしんぼ	072-898-2196
障害福祉サービス ミルキーウェイ	072-867-5690

医療法人 みどり会

中村病院	072-868-2071
中村記念クリニック	072-868-2070
介護老人保健施設 なごみの里	072-868-2072
サテライト なごみの里	
デイサービス 長尾の里	072-818-2071
有料老人ホーム みどりの館	072-868-2727
グループホーム たんぼぼ長尾	072-868-2195
ケアプランセンター なごみ	072-818-7533
訪問介護ステーション みどり	072-868-4392
地域包括支援センター みどり	072-845-2002
研修所 みどりの樹	0264-44-2550

ルー ク 山田 眼科 072-868-0880

編集後記

創刊から15年経過し季刊誌みどりの風 第60号(春号)の発行となりました。

今号は新入職員入社式オリエンテーション、医師赴任、各施設からの新年度の運営方針、社会福祉法人の理事会・評議員会開催、藤阪施設の藤棚植樹祭の様態等を掲載させていただきました。令和2年に入り想像も出来なかった新型コロナウイルス感染症患者の発症数が急増しているなか、このような時期こそ、地域医療福祉の分野を担う組織として頑張ってもらいますので、皆様方からの御意見、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

みどりの風編集委員会

連絡先 ☎072-868-2071 法人本部 松田